

よりそう

Side by Side



編集担当者 富岡、延藤

あなたの意見、勿体無くはないですか？

ほぼ毎日のことだが、ふとした雑談の中などで「まごころネット」の運営についての苦情を聞く。いくつか例を挙げるなら「これだけの人員、金、物を投入するのだからもっと他にやるべきことがあるのではないのか」、「作業が非効率。まったく方向性が見えない」、「仕事を休んでまで来るべきものはここにはなかった」といったこと。

僕（筆者）はそういうのを直接聞いたときいつもこう言うようにしている。「それを本部に伝えてみてはどうですか？」と。しかしながら、彼らのほとんどはそこで口ごもるし、実際にそのような行動に出るようには思えない。あるいはもう自分は幻滅したから今さらどうなろうが知ったことではない、という風に思っているのかもしれない。

未曾有の災害に際して集まった人間が運営する集団。ほとんどが未経験者やボランティアで運営されており、たしかに足りない部分も多い。でも、そんな大災害への対応をすばやく、それも毎日慰労なく行える集団が果たして存在するだろうか？ 組織化され日々訓練を行っている警察・消防でさえ手こずっているのだから、それをボランティア組織に求めるのは求めすぎというものだろう。

事態は日々変わる。すなわちボランティア活動もそれに対応していくために、流動的である必要もある。王道などというものはない。あるならどこかがすでに完結したマニュアル化を行い、他も右倣えで進めているはずである。しかし、そうはならない。そのときそのときが一番良い方向性をみながら出し合って、それを現場リーダー（彼らもあくまでいちボランティアである）が自身の判断で活動を進めていく。

僕は本部の人間でもないし弁護するわけではないが、この説明は遠からず当たっていると思う。でも、逆に考えれば、流動的だからこそ、あなたの意見が何か一つの新たな指針になるかもしれないと考えることはできないだろうか？

不満があるということは、自分にそれとは違う考え方があるということである（もしそれが無いなら単なる愚痴・愚痴でしかない）。身銭を切って労を惜しまず遠方からボランティアに来て、そのまま自分の中でくすぶらせておくのは本当に勿体無いことだと思う。

あなたの意見がすなわち受け入れられるわけではないが、言うだけの価値は十分にある。ボランティアである限りはみな平等であり、あらゆる意見は平等に扱われてしかるべきであるから。

請合ってもいいが不満をそのまま自分の中だけに溜め込んで帰った人は、帰ってから「ボランティアなんて行くもんじゃないわ」という吹聴するはずである。それはまだマシとしても、実際に新参のボランティアに対して、したり顔で「この組織はダメだね。そもそもボランティアじゃどうにもならない」と講釈を垂れそれを正論として押し付ける場面を目にしたことがある。不毛なことだし、わざわざ自分の愚痴に他人を巻き込む必要はない。自分が合わなかった、気に入らない、さらに自分はもうこのことは関わりを持たずと思わないなら、黙して帰るのが賢明だろう。

意見があるよという人はどんどん表しましょう。自分の中で燃らせておくのは本当に勿体ないことです。バスの乗車名簿の裏面、メールなど意見を出す手段はいくらでもあります。この「よりそう」でもあなたの貴重なご意見を掲載します。（文責・延藤）

お知らせ

箱崎地区で見つかりました、アルバム
の写真の洗浄が終わりました。9月12日
から9月29日まで、箱崎地区内仮設
住宅1棟 C-7-4でお渡ししております。
失くした写真がみつかるかもしれません。
お持ちの方は是非お越し下さい。
お待ちしております。

9/12(月) 天気曇

気温 29.5℃

降水確率 20%

※月曜・木曜は休刊日になります。

まごころ種 募集

くわしくはHPへ

※9/12(月)ボランティアミーティングはPM5:30～@体育館

9/1(日)の宿泊:124人、活動:130人